

# 会報神奈川

令和7年5月20日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 小泉匡史

〒236-0051 横浜市金沢区富岡東4-5-41 電話 (045)776-3838

## 会長退任挨拶



神奈川県神道青年会  
第二十九代会長

志村 幸弥

謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。また神宮に於かれましては、諸祭恙なく斎行されておられますこと、殊に第六十三回式年遷宮に向けての諸祭諸行事も天皇陛下の御治定の元、次々と日時が定まり、国民総奉賛での遷宮と気運高まりつつありますこと慶賀に存じ上げます。

さて第二十九代神奈川県神道青年会の会長を仰せつかった令和五年度・六年度の二年間、神奈川県神社庁を始め、県内宮司、先輩諸賢、友好団体などの関係各位の皆様には、一方ならぬご指導とお力添えを賜り、諸事業が大過なく修められました事、衷心より厚く御礼申し上げます。

「密を避けよ」と言われ続けた新型コロナウイルスによる行動制限も無くなり、青年会もコロナ禍以前と変わりなく会員の参集及び事業の開催が行えるようになりました。「研修」と「親睦」が両輪と言われている青年会に於いて、コロナ禍により些か「疎」となっていました。二年間は親睦事業を始め、会員同士の参集する機会を増やすよう努めました。

七十周年の記念事業が思うように開催出来ず周年記念事業がどのようなものか直接知っている会員が少なく、七十五周年の記念事業を恙なく開催する礎を作る為、また既存の事業だけでなく多面的に様々な事業を開催することで、あまり事業へ参加しない会員に少しでも興味を持ってもらい参加する契機が増えるようにと、各部長には新規事業等の企画に尽力して頂きました。

大きな事業を為すには会員同士の信頼が必要不可欠です。この二年間の取り組みで青年会の一体感が高まり、七十五周年の記念事業は元より、今後の青年会事業の発展一助となれば幸いです。会員各位、特に次代を担う若手の会員の皆様には、周年事業を始め、各事業へのより一層の積極的な参加をお願い申し上げます。

青年会の会員数は現在、減少傾向にあります。少子高齢化、人口減少が叫ばれて久しい昨今、当会に於いてもその影響は顕著であり、十年前は百六十名を数えた会員数も今ではおよそ半分の八十九名となっております。以前と同じような規模の事業の開催は難しいかもしれません。しかし、一人一人がしっかりと会員としての自覚と熱意を持ち、今出来る事、青年会でしか出来ない事を模索し、急速に変化する時代の中にあっても、神道人として「常若」の精神を基とし、小泉新会長を中心に邁進して行くと信じております。

結びに、数々のご指導を賜りました先輩諸賢、到らぬ私を支えて頂きました役員・会員各位に心より感謝を申し上げますと共に、関係各位におかれましては、青年会への変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会長退任にあたっての御礼の挨拶とさせていただきます。



神奈川県神道青年会



www.k-jinja.jp

## 会長就任挨拶

神奈川県神道青年会  
第三十代会長 小泉 匡史



謹んで聖寿の  
万歳と皇室の弥  
栄をお慶び申し  
上げます。また、  
神宮におかれま

しては、諸祭恙なく肅行されておりますこと、心より慶賀の意を表します。

さて、去る令和六年十二月十日に開催されました臨時総会におきまして、神奈川県神道青年会第三十代会長を拝命する運びとなりました。創立七十五年の歴史を誇る当会において、その重責を担うこととなりましたこと、身の引き締まる思いと共に、責務の重大さを深く実感しております。

私はこれまで、教育現場、そして神社の現場において、時に祈りを通じて、時に人との関わりを通じて、「伝える」ことの大切さと真摯に向き合っており、その経験の礎に、斯界の未来に繋がる実践的な活動と、新たな神道青年会の在り方を模索して参りたいと存じます。

本年は、終戦より八十年の節目を迎えます。未曾有の戦禍を乗り越え、戦後復興の中で紡がれてきた我が国の歩みと、英霊の御遺徳を忘れることなく、

私たち青年神職が未来へ祈りを継承していく責任が問われる時代であります。慰霊碑・忠魂碑の調査を始めとした英霊顕彰に関わる事業にもより一層の使命感をもって取り組んで参ります。

また、本年は当会創立七十五周年という佳節にあたり、様々な記念事業が展開されます。先輩諸賢が築かれてきた歩みを継承しながら、時代に応じた形でその精神を後進に伝えるために、私は「変革」と「継承」の両輪をもって挑んで参ります。次代の青年神職たちが「自らの使命を信じ、誇りを持って生きていける環境づくり」を、会員の皆様と共に進めて参りたいと存じます。

令和という時代は、分断の時代であると同時に、再び繋がりを直すことのできる時代でもあります。時代の変化に迎合することなく、しかし柔軟に、青年神職として「今、できること」に真摯に取り組む、一歩ずつ確実に歩みを進めて参ります。

結びに、神奈川県神社庁を始め、県内宮司様、これまで当会を導いてこられた歴代会長様、先輩諸賢の皆様、また日頃より温かいご理解とご支援を賜っております各位に深く感謝申し上げますと共に、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

## 創業百有余年

— 伝統の技術を活かした授与品作り —  
神奈川県神社庁をはじめ  
全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金襴御守・御朱印帳  
交通安全守・彫り木守・守護矢・ステッカー  
シール型守・縁起物・その他各種授与品



株式会社 丸井紙店

TEL 055-272-0136 FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 <https://juyohin.co.jp/>



御装束・御簾・神典  
神祭具調度

宮内庁御用達・京都百年老舗

有限会社

竹重

〒600-8324

京都市下京区西洞院花屋町上る東側町510

☎075-371-0394 FAX075-341-6966

フリーダイヤル 0120-37-0394



代表取締役

可児 錠二

トモ工陶業株式会社  
株式会社 可児商店

愛知県瀬戸市北浦町三丁目36番地 〒489-0915  
☎0561-83-3674(代) ☎fax.0561-82-4261  
E-mail:kani-co@mtf.biglobe.ne.jp  
<http://www.tomoetogyo.jp>

社殿造営・神棚神具製造  
有限会社 俵田屋  
ひょうたや  
代表取締役 田中弘紀  
〒516-0026  
伊勢市宇治浦田二丁目1-103  
電話 〇五九六 二三 三九〇五  
FAX 〇五九六 二三 三九〇八

## 就任挨拶



副会長

土屋 慶之

この度、前期に続き副会長の大役を仰せつかることとなり、改めて責任の重さに襟を正す思いでございます。もとより及びもつかぬ者ではございますが、先輩諸賢にご指導を賜り、責務を全うすべく専心努力致す所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

今期、私が担当する部会は教養部・企画部・親睦部となります。各部の部長を中心に副部長の仲間と共に、継続事業をより良い内容に改善し、新企画の立案を行う等、充実した活動を進めていきたいと考えています。

尚、昨年度の会則改正に伴い、副会長が「二乃至三名」となった今期は、長崎副会長と共に二名体制となります。新たな試みでの会務運営となりますが、現状に即した形の中で小泉会長をお支えし、役員をはじめ会員の皆様と共に様々な事業を創り上げて参りたく存じます。

また、本年は当会創立七十五周年の佳節を迎えます。会員の皆様には、通

常事業に加え、各周年事業への積極的なご参加をお願い申し上げ、就任のご挨拶と致します。



副会長

長崎 佳範

この度、副会長という大役を仰せつかることとなり、責務の重さに非常に身の引き締まる思いです。浅学非才の身ではありますが、諸先輩方にご指導ご鞭撻を賜りながら、この責務を全うできるように努めて参ります。

今期担当させていただく部会は渉外部と広報部となります。前年度まで担当をしていた広報部に対し、渉外部は今まで経験のない部となりますので何かと慣れない事多いかと思いますが、両部長と共に遺漏のないように取り組んで行く所存です。

ここ数年、青年会は会員の減少という問題に直面しており、一般の新たな組織作りに於いてもかなりの苦労を強いられてきたと聞き及んでおります。会員増加への努力も課題ではありますが、現在の環境で出来る事を模索し、新たに構築していく事を求められている面もあると思います。小泉会長の手助けが出来るよう努めて参りますの

で、何卒宜しくお願い申し上げます。



総務局 局長

増田 源弘

この度、総務局長を務めさせていただきます伊勢山皇大神宮の増田源弘と申します。今期は、局員二名と共に活動を進めて参ります。

今年度は終戦八十年の事業を中心に災害対策などの事業を展開して参ります。終戦八十年の節目を迎え、祖国の繁栄と世界平和を願いながら尊い命を捧げられた御英霊に対し、感謝と慰霊の誠を捧げる事の大切さを改めて考え、先人たちの想いを紡ぎ後世に伝えていく、そのような事業を企画していきます。また昨年に引き続き、慰霊碑・忠魂碑の調査も進めて参ります。

災害対策事業については、近年も大きな自然災害が全国各所で起こっており、県下においても将来起こり得る自然災害の被災地域になる事が予測されます。非常時に青年会としてどのような行動ができるのか、情報の共有や連絡手段などを考えておく必要があります。当局ではそのような対策に加え、研修の企画、運営も行っていきたいと思います。充実した事業を展開できるよう努め

て参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



事務局 局長

坂路 禎己

此度、事務局長を務めることとなります富岡八幡宮の坂路です。未だ経験の浅い身である故、大任を前に身の丈を顧みる思いですが、責務を全うすべく専心努力する所存でございますのでご指導ご鞭撻のほど何卒宜しく申し上げます。

今期の事務局は、前期まで二期四年間の長きに亘り事務局長を務められた中村監事が築き上げた成果をしっかりと引き継ぎ、より良い会務運営を心掛けて参ります。

事務局の活動内容は、定例総会及び各月の拡大役員会の運営を始め、会員や外部団体などの各種名簿の管理、各部局間との連携と協力を強化並びに促進していくことであります。

また、本年度は当会創立七十五周年記念事業実行委員会の事務局として、さらには小泉新会長が神青協・都七県協議会の副会長、来年度には会長となることで、地区の事務局の運営も担当する非常に重要な期でもあります。

諸先輩方が築いてこられた当会の名に恥じぬよう、しっかりと機能出来るよう粉骨碎身の覚悟で臨む所存です。何卒皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会計局 局長  
平賀 允教

この度会計局の局長を仰せつかり、身に余る大役に不安もありますが、責任を痛感し、気を引き締めて臨みます。今期、局員一名と連携を密に取り、会計局を務めさせて頂きます。

今年度は通常の会計に加え、創立七十五周年記念事業の会計も併せて管理させて頂きます。

同じ志を持った会員の皆様の合力、そして先輩諸賢の皆様からのご支援を、正確且つ円滑に管理処理することに心がけて参ります。

又、各部局長との連携を取り、資金面から会務を見渡し、各事業を有意義に遂行出来るように努めて参ります。

不慣れな点も多々ございますが、会の運営の一助となるよう尽力致したいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



教養部 部長  
湯田 敬介

志村会長長期に引き続き教養部部長を仰せつかりました。新たな決意を胸に一層の覚悟をもって臨む所存です。

今期の教養部は土屋副会長の下、副部長四名にて活動を進めて参ります。

当部の活動と致しましては、青年神

職としての教養を深めるべく祭式研修会を始めとする各種研修事業の開催、また令和元年度からの継続事業として行っております「歌会始」への詠進の取り纏めを軸に企画・運営し、皆様にとつて魅力的で有意義な事業を開催出来ればと考えておりますので、皆様方からの忌憚のない御意見をたくさん頂けましたら幸いです。

また、研修後の懇親会に関しても積極的に開催して行く所存でございます。研修と懇親会を通じて親睦を深め、会員同士の繋がりを広げるきっかけ作りに取り組んで行く次第であります。

会員数が減少傾向にある当会ではございますが、より多くの会員に参加して頂けるような場を目指して参ります。至らぬ点も多々ございますが、皆様のご期待に添えるよう邁進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

お願い致します。



渉外部 部長  
宮本公太郎

今期より、渉外部の部長を仰せつかりました。今期の渉外部は、大変心強い四名の副部長と共に活動を行って参ります。

渉外部では、神道青年全国協議会及び神青協一部七県協議会主催の各種事業への参加促進、賛助会員制度の強化と交歓会並びに顧問会の開催、関係諸団体との関係強化、各単位会との情報伝達及び交流、他の単位会との交流事業の構築、外貨寄付事業を活動計画に挙げております。

当会の「対外事業に於ける窓口」として県外の各事業に積極的に参加し、他県青年神職との交流を深め、各単位会との架け橋となるよう渉外部全員で取り組んで参ります。また友好的な雰囲気の良い青年会として、当会会員がより事業参加しやすい環境を構築して参ります。

これまで当会を築き上げてこられた諸先輩方や他県の青年神職と交流を深めて経験を積み、神職人生において成長の伴う活動を行って参りますので、

何卒宜しくお願い致します。



企画部 部長  
伊藤 政好

この度、二期目の企画部部長を仰せつかりました。

企画部では、私ども日本人の源流とも言える稲作体験事業を一年間通して行っております。この稲作体験は神道の根源であり、神職自ら米作りを体験することで神道における祭祀の意義を再確認すると共に、子供達にも米作りを体験してもらい、お米への感謝の心を育む教化育成を目的とした事業です。

昨今では、当会会員と一般参加者の見分けがつかなくなる程多くの皆様にご参加頂く為、昨年新たに「神奈川県神道青年会」と印字されたビブスを購入し、十月の稲刈りより着用しました。作業終了後は食への感謝と参加者相互の交流を深めるため青空の下で昼食を共にし、終始賑やかに稲作体験事業を修めています。

本事業を、より多くの子供達に向けて古くから伝わる米作りの伝統と、その大切さを感じる契機として拡げていきたいと存じます。今後とも、諸先輩方

の想いを引き継ぎ、努力精進致す所存でございますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



親睦部 部長  
長坂 倫旦

この度、親睦部長を仰せつかりました長坂と申します。親睦部は会員相互の輪を広げ、絆を深める大事な部であり、このような大役に身も心も引き締まる思いが致します。

今期は土屋担当副会長の下、五名の副部長と共に、定例総会後の懇親会・忘年会・新年会・慰労送別会の企画運営を継続して行つて参ります。また恒例事業の他にも、様々な親睦事業を企画し、会員同士また会員家族が交流できる場を提供できるようにと考えております。

私自身、至らぬ点や不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、有意義な時間を皆様と共有できるように努めて参ります。「アフターコロナ」という言葉も久しく聞かなくなりました。今後も皆様の積極的なご参加ご協力をお願い致します。



広報部 部長  
吉本 けいと

この度、新たに広報部長を仰せつかりました森戸大明神の吉本と申します。いまだ不慣れな身ではございますが、広報担当として青年会の活動や業界の魅力を広く発信できるよう、まずは先輩方の取り組みをしっかりと引継ぎ、副部長と力を合わせて慎重に事業を進めて参りますので、何卒ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

さて今期の広報部では、長崎担当副会長の下、当会及び神青協各種事業への取材、『会報 神奈川』及び『会報 神奈川 創立七十五周年記念号』の発行、協賛各社様の継続強化、メンバーリストの管理、SNS及びホームページの更新、神社新報への寄稿など、引き続き多角的な広報活動を予定しております。

当会の継続と発展のために、正確で分かりやすい情報を皆様にお届けすると同時に、より多くの方に親しんでいただけるようなコンテンツ作りを目指して精進致しますので、どうか皆様のご意見ご要望をお寄せ頂きますと幸いです。宜しくお願い申し上げます。

御社頭授与品  
御参拝記念品  
立案画製

〈営業品目〉 ●交通安全御守護  
●開運招福鈴  
●文鎮 金盃  
●各種記念品類  
●胸像・レリーフ・鑄造類

## 鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1  
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332  
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp  
http://www.suzuki-kisho.co.jp

神奈川県神社庁御用達

株式会社 **クレックス**

代表取締役 近藤 栄人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六十八-10番地  
電話 〇四二七二八八九四一代  
FAX 〇四二七二三一三五六三

## 誠実奉仕、信用第一

神 社 本 庁 御 用 達  
國 學 院 大 學 推 薦 店  
明 治 神 宮 指 定 店

# 瀬 戸 装 束 店

〔営業品目〕  
●神職御装束 ●神楽装束 ●神社調度  
●祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10番5号  
電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927

KOWA DISPLAY CO., LTD.

大切なイメージをカタチにします。  
オリジナル授与品・記念品

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002  
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925  
ホームページ http://www.kowa-dsp.co.jp/

## 創立七十五周年記念事業

創立七十五周年記念事業  
実行委員長挨拶

実行委員長 小峰敏風

当会は戦後の混乱の中で、祖国の再建と神道興隆を目指し創立されて以来、七十五年の節目を迎えます。この佳節を迎えるにあたり、令和六年四月二十六日に開催された定例総会において本周年事業実行委員会が発足し、実行委員長を仰せつかりました。

会員数の減少も問題の一つでありましたが、七十周年の際に疫病蔓延により事業を実施出来なかったことが大きな影響を及ぼし、周年事業に携わった経験のある会員が数名程度しかいないという現状を招きました。事業構築も過去の資料を漁るところから始まり、会員に周年事業を体験してもらうことを目標に次の七つの事業を展開して参ります。

## 一、神宮奉告参拜

(令和六年九月二十五、二十六日)

## 二、硫黄島訪島事業への参加

(令和六年十月十三、十四日)

## 三、神奈川慰霊堂戦没者慰霊祭

(令和七年五月二十九日)

## 四、創立七十五周年記念大会

(令和七年九月二十九日)

## 五、顔写真入り神職手帳作成

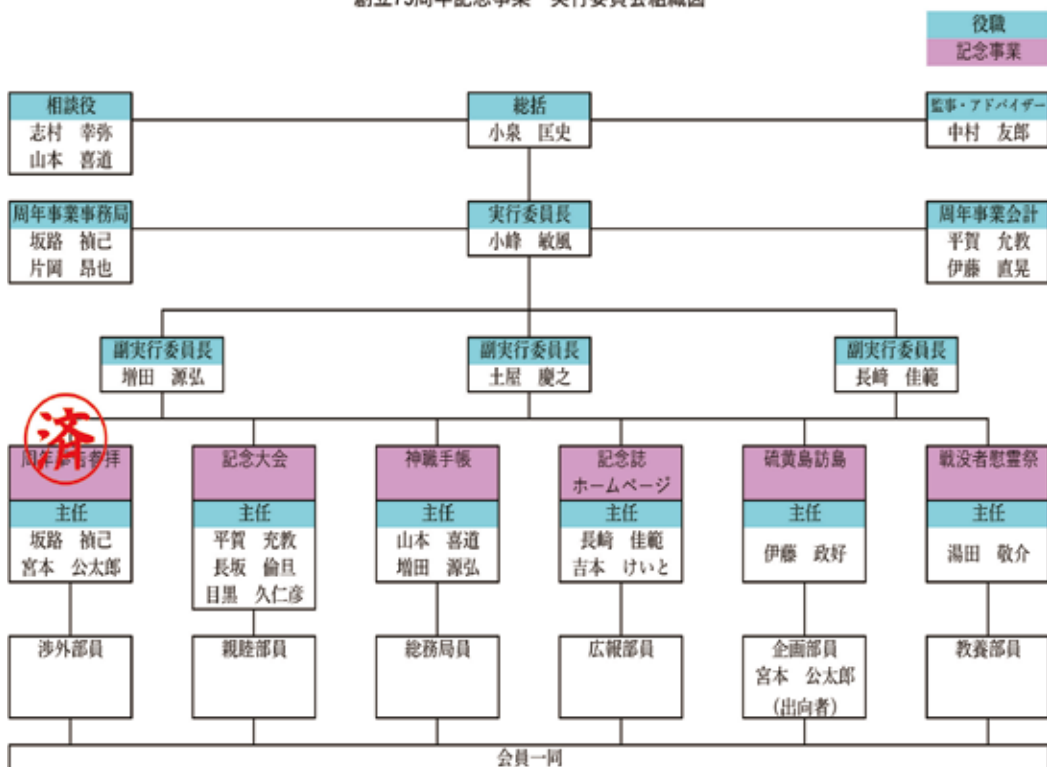
## 六、ホームページリニューアル

## 七、会報神奈川創立七十五周年記念号発行

組織図においては、役員改選期を跨ぐこともあり、各種事業を部長に担当してもらい、新旧の役員が相互に協力し、限られた時間の中で思考錯誤を重ねながら遂行して頂いております。

先程申し上げたとおり、未経験者が多い会員構成となります。今でこそAIの発達により、何事も簡単に答えを導き出せる時代ですが、経験に勝るものはありません。先輩諸賢をはじめ関係各位には、今まで以上にご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

また、会員の皆様には脈々と継がれてきた数多の活動とそれに伴う思いを次世代に継承する為、事業当日のみならず積極的に会議や準備にご参加頂き、自らが体験し経験を積み場として頂きたいお願い申し上げます。

神奈川県神道青年会  
創立75周年記念事業 実行委員会組織図

## 神宮奉告参拝

事務局 局長 坂路禎己

去る令和六年九月二十五・二十六日、当会創立七十五周年の奉告をすべく、外宮及び内宮にて御垣内参拝を行いました。志村会長、小峰実行委員長を始め会員十五名が当会を代表し、先輩諸賢が積み重ねてこられた七十五年の歴史の重みを改めて感じると共に、いよいよ始まる周年事業の完遂を祈念致しました。



初日は新幹線にて移動し外宮参拝、「せんぐう館」見学を行いました。せんぐう館では神宮神道青年会のご厚意により、貴重な神宮の御装束神宝の数々と式年遷宮に関する社殿造営の模型や映像についてご説明戴き、これよ

り始まる遷宮への意識を高め、我々青年神職が積極的に活動を展開していかなければならないと感じるきっかけとなりました。また、神宮徴古館や神宮美術館の拝観を経て更に見聞を広めることが出来ました。

初日の夜は、神宮神道青年会の皆様にご参加戴き、合同の懇親会を伊勢市駅周辺にて行いました。日々のご奉仕の事や、式年遷宮に向けての活動等について意見交換を行いながら懇親を深め、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

二日目は、内宮にて御垣内参拝の後、神楽奉納を修め、これより行われる遷宮の「御敷地」を見学させて頂きました。御敷地を目の前に会員一同、身が引き締まる思いが致しました。各々が第六十三回式年遷宮に向けての想いを確認し、青年神職として天皇陛下の大御心の下、国民総奉賛での遷宮となるべく、啓発活動を模索し進めて参ります。

今回の奉告参拝では、神宮をはじめ神宮神道青年会の皆様にお忙しい時間を割いて戴きました。改めて深く感謝申し上げます。今後とも遷宮に向け、当会としても様々な形で関わりを持ち、一助となるべく努めて参ります。

また「神奈川県神道青年会創立七十五周年」に向けて会員一人一人が各々

の役割の重さを噛みしめ、気を引き締め、青年神職らしく若々しく、勢いのある活動を更に進めて参りたく存じます。

## 硫黄島訪島事業

渉外部 部長 宮本公太郎

令和六年十月十五日、公益社団法人日本青年会議所主催による硫黄島訪島事業に参加させて頂きました。前日には事前研修会として、埼玉県飯能市のホテルに参議院議員の佐藤正久先生をお招きし、硫黄島の戦いにおける概況、戦闘、戦備、戦没者、その島内の戦没者の碑についてご講義をいただき、御



遺族を含む参加者全員で意見交換会が行われました。

当日は軍用機に乗って硫黄島へ向かいました。実際の硫黄島は静かでありながら、とても十月とは思えない、気温三十度を超える過酷な気候でした。初めに「硫黄島戦没者の碑」に於いて慰霊祭を執り行い、英霊の安らかなることを皆で祈りました。続く島内の視察では、戦争の傷跡が今だに残っているという第一印象でした。今もなお不発弾の残る地、戦時中に使われていた大砲、島民が使っていた食器、その他様々なものが残されていました。現在でさえ水の確保すらままならないような環境下で、当時の戦況を思うと計り





以前のホームページ制作時から十年以上が経過し、インターネット環境の変化により様々なコンテンツに軽微な不具合が発生するなど、最近では通常の更新作業以外にも細かい補修を繰り返していましたが、当会創立七十五周年を迎えるにあたりホームページを刷新する運びとなりました。

近年求められているスマートフォン

## ホームページリニューアル

副会長 長崎佳範

知れない恐怖を感じました。今を生きる我々は、硫黄島で日本のために戦った先人の思いを風化させてはなりません。

表示の対応を実装し、パソコンからの表示についても見やすく分かりやすい構成となっております。また動画掲載のページを常設化し、今後の展開についても幅広く対応できるように致しました。

管理面に於いても、今までは別々の会社が行っていたサーバー管理とホームページ管理の担当を、今般のリニューアルを担当していただいた会社に一任化し、運用を簡便化しました。各種更新作業もブラウザ上から行えるようになり、担当部の負担の軽減を図っております。

宮内庁 神社本庁・神奈川県神社庁・各県神社庁  
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

御用達

**株式会社 大槻藝東店**

代表取締役 大槻 奈津子

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-13-2

<http://www.ootsuki-shozokuten.com>  
E-mail: [info@ootsuki-shozokuten.com](mailto:info@ootsuki-shozokuten.com)

千代田線・湯島駅徒歩4分 / 銀座線・末広町駅徒歩6分

電話：03-3835-3201 FAX：03-3835-0617

神奈具 授与品 記念品 奉製

**株式会社 神路社**

本社  
〒516-0037 三重県伊勢市岩間2丁目5番29号(和歌山第26号)  
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110  
I P 電話 050-3536-5273  
E-mail [info@kamijisya.co.jp](mailto:info@kamijisya.co.jp)

神 苑(東京本営業所)  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階  
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721  
I P 電話 050-3539-3432  
E-mail [info-tokyo@kamijisya.co.jp](mailto:info-tokyo@kamijisya.co.jp)  
<http://www.kamijisya.co.jp>

誠実と真気で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪御守・天然石みくじ

御一報次第力タログ御送り致します。

**グリーン産商株式会社**

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

【薬剤効果】・防火難燃性能・防腐効果・防蟻効果

**エアー鉋 無公害性防火難燃剤**  
**ファイニレターデント防燃水**

木材の大敵、  
「水じみ」  
「木材腐朽菌」除去!

●多くの神社仏閣・公共施設に採用!  
●1,300℃でも引火しない!  
●無色透明人体・建物に無害!

移転  
しました

**コクド環境株式会社 草加事務所**  
〒340-0015  
埼玉県草加市高砂2-11-9 ヴァンペール草加603号  
TEL:048-918-2057 / FAX:048-945-5902

祈りのかたち  
京の伝統と真心を込めて

御社寺ならでしの御守をオーダーメイドで奉製いたします  
色・柄・形などお気遣い御相談ください

**京都奉製株式会社**

御社寺ならでしの御守をオーダーメイドで奉製いたします

京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所 / 福岡営業所  
TEL 0120-164124 (イロイニシキ)  
ホームページ <http://www.omamori.co.jp>

## 活動報告

十月

## 稲刈り

企画部 副部長 金子 輝

令和六年十月六日、伊勢原市にあり  
ます御神田において、当会主催の稲作  
体験事業・稲刈りを行いました。

本事業は日本古来から伝わる稲作  
を、一年を通じて体験し感謝の心を育  
む事を目的としています。稲刈り当日  
は曇りで時折雨が降りましたが、一般  
参加者・国學院大學学生・当会会員合  
わせて四十三名のご参加を賜り、耕作



者の小泉様ご指導のもと賑々しく作業  
を進めることが出来ました。

最初は雨の影響もあり、ぬかるんだ  
足元や水分を含んだ稲穂に苦戦を強い  
られましたが、天気が良くなり日が差  
す頃にはコツを掴み、慣れた手付きで  
稲刈りをする子供達の姿も多く見受け  
られました。その後、刈り取った稲穂  
は御神田に立てた竿に掛けて干し、稲  
刈りは無事に終了しました。

今回の稲刈りより、当会会員とその  
他の参加者が一目で判別できるよう  
に、「神奈川県神道青年会」と印字さ  
れたビブスを着用しました。これによ  
り参加している子供達も我々に気軽に  
質問してくれたり、とても良い交流



の一助になったと思います。  
今後今回の経験を糧にし、より良  
い体験事業にすると共に、伝統ある稲  
作を体験出来る貴重な機会となるよう  
継続して参ります。

## 葬儀マナー研修会

教養部 副部長 阿部友哉

令和六年十月八日、厚生労働省認定  
葬祭ディレクター技能審査一級葬祭  
ディレクター・横浜セレモ株式会社  
セレモホール富岡支配人の伊藤伸也先  
生を講師としてお招きし、神奈川県神  
社庁に於いて教養研修「葬儀マナー研  
修会」を開催しました。

研修ではまず、臨終から葬儀の前後、  
その後の行政手続き等、喪主や葬家の



担う役割やその間の葬儀社、宗教者そ  
れぞれの動きを解説していただきまし  
た。

次にエンディングノートを用い、葬  
儀やその後の手続きなどに必要な事  
項、いざというときの困り事など、実  
例を交えながら詳しくご説明いただき  
ました。

後半には他宗教の葬儀や参列時の注  
意事項、後進の教育や理念についてな  
ど、活発な質疑応答、神職と葬儀社双  
方からの意見交換が行われました。

人生儀礼の重儀である葬祭を奉仕す  
る身として、喪主・葬家の担う役割を  
知ること、故人に「ありがとう」を  
伝える場としての葬祭を、より喪主様  
に寄り添ってご奉仕するための心構え





令和六年十月二十一日、「第三十回全国戦没学徒追悼祭」が兵庫県あわじ市の若人の広場公園にて肅行され、当会からは志村会長と私の二名が参列致しました。

第三十回の節目を迎え、全国戦没学徒を追悼する会の主催により、神道青

### 第三十回全国戦没学徒追悼祭

相談役 山本喜道

を再確認する大変貴重な機会となりました。

今後も協力関係にある業界の方をお招きし、研修会や意見交換の場を設ける等、日々の奉仕の更なる充実に繋がる事業を展開できればと考えております。



年近畿地区連絡協議会会長である野上斎主のもと全国の青年神職が奉仕し、海上自衛隊による演奏の中、仏教・キリスト教と共に追悼の祈りを捧げました。

追悼祭が肅行された若人の広場公園は、太平洋戦争で戦没した約二十万人の学徒を慰霊する為に竣工された場所です。阪神淡路大震災の被害により一時閉鎖されていましたが、関係者の尽力によって平成二十七年に再び開園された場所です。

令和七年は終戦から八十年の節目の年となります。犠牲となられた英霊あつての今日の平和に深く感謝をし、世界平和を実現する為に、戦争が生む悲劇を後世へ伝えていくことを御霊に誓いました。



令和六年十月二十八日、東京ドームホテルに於いて、東京都神道青年会創立七十五周年記念大会が開催され、当会より志村会長以下十一名が参加致しました。

記念式典のオープニングには画家のさとうたけし先生によるライブペインティングが披露され、その後、記念事業として開催されたなつやすみ子供神社体験学習や御朱印展、武蔵陵墓地参拝および勤勞奉仕等の報告が行われ、当会の活動にとっても大変参考になる活動内容でした。

### 東京都神道青年会 創立七十五周年記念大会

会計局 局長 平賀允教

記念式典の後に、歌舞伎役者の中村獅童先生による記念講演「中村獅童の挑戦「伝統と革新」があり、歌舞伎という伝統芸能に流行と最新技術を取り入れた挑戦、また映画作品で靖國神社にお祀りされている英霊を演じた経験などの貴重なお話を拝聴致しました。

続く記念祝賀会では、和楽器と洋楽器のアンサンブルが会場を盛り上げ、結びに東京都神道青年会で恒例の「神道青年の歌」を、出席者全員で手を繋ぎ大合唱致しました。

東京都神道青年会の方々をはじめ、各単位会の方々と交流を深めることが出来、大変充実した時間を過ごすことが出来ました。

## 十一月

### 神青協一都七県協議会 懇親フットサル大会

総務局 局長 増田源弘

令和六年十一月六日、国立代々木競技場フットサルコートにて神青協一都七県協議会懇親フットサル大会が開催されました。当県からは十二名が参加し、全参加者六十八名と野球大会に負けない程の人数が集まりました。今回は神青協一都七県協議会の卒業者からなる「一七〇Ｂチーム」も結成され、

優勝の喜びと共に、会員同士を始め他県との懇親も深める事が出来、素晴らしい一日となりました。次期会長となる小泉匡史キャプテンの下、次回も優勝を目指します。

当県からも二名が参加しました。当県のチームは、持ち前の明るさとチームワークの良さを活かし順調に勝ち星を重ねていききましたが、勝負所は一七〇Ｂチームとの試合でした。鉄壁の守りを誇る一七〇Ｂチームに対し、なかなかゴールが奪えず拮抗した展開となりましたが、終盤に当県のエースがゴールにねじ込み、一対〇で勝利を収める事が出来ました。その結果、野球大会に続きフットサル大会でも優勝し、志村会長長期最後の年に二つのトロフィーを持ち帰ることが出来ました。



### 神道青年全国協議会 臨時総会

監事 中村友郎

令和六年十一月十九日、神社本庁二階大講堂にて令和六年度臨時総会が開催されました。

主に次期会長選出に関する件が審議され、次期会長に北海道神道青年協議会の北方宏和君が候補者として選出、異議無く承認されました。

### 神道青年全国協議会 令和六年度能登半島地震 復興支援活動

相談役 山本喜道

令和六年一月一日に発災した地震に加え、九月にも豪雨災害に見舞われた石川県能登半島の復興支援活動として、十一月二十五～二十六日の神道青年全国協議会能登半島地震復興支援活動に初日約四十名、二日目二十名と、総員約六十名の青年会員が集まり、当会より志村会長と私の二名で参加して参りました。

初日は、約二十名ずつ二班に分かれての作業となりました。私達は輪島市方面に赴き、地震で社殿が倒壊し、豪雨災害で裏山の土砂が崩れた神社の支援活動を致しました。土砂が入った土嚢袋をリレーで運び出す作業は土嚢袋がとても重く、泥まみれになりながら

も、若手神職らしく力を合わせた結果、ほとんどの土嚢袋を運び出し、側溝に



詰まった土砂まで片付けることが出来ました。

二日目の作業は珠洲市方面に赴き、神社の拝殿内の清掃、境内整備や樹木の剪定等の作業を致しました。

被災地の神職より「氏子の方々が各地へ避難され、深刻な過疎化が進んでおり、神社の復興がままならない状況にある。ぜひこの状況を地元に戻られて共有いただき、想いを寄せてほしい。それが何よりの復興の励みになる」とお話をいただきました。今後も継続的に復興支援活動へ参加し、被災地復興の一助となるよう活動して参ります。

## 十二月

### 神青協一都七県協議会 令和六年度第四回 定例会議・研修会・忘年会

渉外部 副部長 新倉佳奈恵

令和六年十二月五日、明治神宮社務所講堂にて神青協一都七県協議会の令和六年度第四回定例会議と研修会が開催されました。

講師には明治神宮国際神道文化研究所主任研究員 今泉宜子先生をお招きし、「皇室と福祉―赤十字『昭憲皇太后基金』の歴史から―」と題し、ご講



演を賜りました。世界最古の人道援助基金である昭憲皇太后基金は、戦時救護が主であった明治時代に自然災害や疾病予防等の平時活動を奨励するため設立されたもので、世界の国際開発援助の先駆けとなったことを学びました。自然災害や疾病に対する援助、例えば募金等は神社であるからこそ、より社会に貢献できることのひとつと考えます。昭憲皇太后基金を日本人として誇りに思うとともに、自分の勉強不足を痛感し考えを深めることができました。後半には、世界地図を使って援助先に選ばれた国を探す時間もあり、和やかな空気が流れました。

その後に、新宿の「にいむら」にて忘年会が開催されました。年末年始の

繁忙期に向けて士気を高め合い、親睦を深め、有意義な一時を過ごすことが出来ました。



## 臨時総会

会長 小泉匡史

令和六年十二月十日、ロイヤルホテル横浜にて臨時総会を開催いたしました。

総会では、清水水総務局員が議長に指名され、出席者三十名・委任状五十九名により総会の成立が報告されました。また、佐野巖顧問と小澤篤至顧問にもご参加いただきました。

最初の議題である会則改正については、志村幸弥会長および中村事務局長より説明があり、「会の所在地を会長

奉務神社とすること」「副会長の人数について」「会長が認める者は定年後も会員として残すことができること」等の改正案が提示され、満場一致で承認されました。

次に、次期会長選任に関する議題が審議され、志村幸弥会長より小泉匡史副会長（川崎市・八幡大神権禰宜）を次期会長に推薦する旨の説明がありました。これに対し、盛大な拍手をもって承認されました。小泉次期会長からは、「（原点回帰）を主題に掲げ、会員一人一人に声をかけ、全員で共に歩んでいく」という決意が力強く表明されました。

新たな時代の幕開けに期待が膨らむ



とともに、これまで紡いできたものを大切にしながら成長していく青年会の姿が楽しみです。

## 忘年会

親睦部 副部長 田村拓之

令和六年十二月十日、ロイヤルホテルヨコハマに於いて、賛助会員交歓会及び忘年会を開催致しました。当日は、八幡大神宮司 小泉倫孝様をはじめとする賛助会員・顧問の皆様、また友好団体である神奈川縣神輿保存會の皆様にご臨席賜り、総勢四十七名の方々にご出席頂き、盛大に執り行いました。

冒頭では、同日に行われた臨時総会





に於いて、令和七年度会長職を承認された小泉匡史より青年会に対する熱い想いのこもった挨拶がなされ、新しいことに挑戦していく姿勢と実行していく行動力を身に付けていきたいと感じました。

懇親会の席では、小泉愉孝様が挨拶の時におっしゃっていた「横のつながり」を体現するかのようには会員同士が和やかに語らい、より一層親睦を深め、又諸先輩方から貴重なお話を伺い大変勉強になりました。一年間の疲れを癒すと共に、次年度の活動へ向けて一致団結し、当会の更なる発展を確信するまたとない時間を過ごすことが出来ました。



年末年始の忙しさを乗り切った同じ斯界の仲間同士での時間は、最高の慰

## 新年会

会員 水谷友哉

一月

令和七年一月二十三日、横浜駅近

の「わん九州自慢」にて新年会が開催されました。志村会長、小泉次期会長兩名による年末年始の劳いの挨拶より令和七年最初の事業がスタートしました。一月の忙しい中にも関わらず二十四名の会員が集まり、各お社の正月の様子、苦労話や笑い話等に花を咲かせ、リラックスした雰囲気の流れていました。

労の場となり、各々が日々の奉仕への英気を養う時間となりました。会員減少の中でもこの様に大勢が集まり、懇親を深め大いに盛り上げられるのも、会員同士の親睦を大切にすることに主眼を置き、会を引っ張って来られた志村会長のお陰だと強く感じました。

守屋相談役の締め挨拶では、「今年から会長が代わり小泉次期会長に引き継ぎとなるが、会員皆で支え、各種事業に参加し、盛り上げて欲しい」と次の世代への応援の言葉を頂きました。

残り数ヶ月ではありますが、志村会長の下で会員一同更に親睦を深め盛り上がり、最高の形で次期小泉会長長期を迎えられる様に一層励もうと思える新年会となりました。

二月

## 令和七年 北方領土 返還要求全国大会

相談役 山本喜道

令和七年二月七日「北方領土の日」に、東京都港区虎ノ門のニッショーホールにて、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の返還実現を求めて、北方領土返還要求運動連絡協議会及び内閣府の共催によ



り令和七年北方領土返還要求全国大会が開催され、会を代表し参加して参りました。

まず前半はディスカッションと、元島民の方やその子孫の方のお話、各団体の活動、高校生や大学生による北方領土問題の研究発表が行われました。後半の全国大会では、日米首脳会談の為渡米されていた石破茂内閣総理大臣からのビデオメッセージの後、各会各層代表の方々が登壇され、北方領土返還に向けて強くアピールしました。

大会の中で、元島民の数は五千人を下回り、平均年齢は八十九歳と、一段と高齢化が進んでいると伺いました。戦後八十年という節目の年を迎え、北方領土問題の解決を目指して当会も

様々な活動に取り組んで参ります。

## 千葉県神道青年会 創立七十五周年記念大会

事務局 局長 坂路禎己

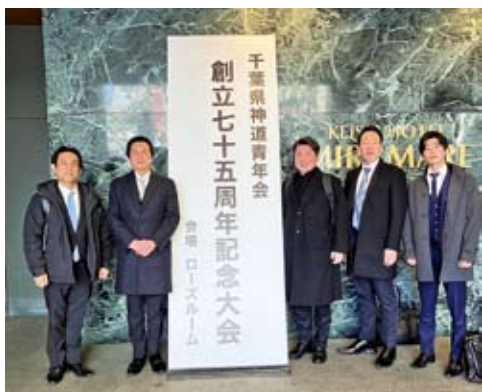
令和七年二月十九日、千葉県神道青年会創立七十五周年記念大会が千葉市の京成ホテルミラマールにて開催され、当会からは五名が参加致しました。

記念式典の周年活動報告では『挑戦と継承』のテーマに沿った様々な記念事業の報告が行われ、多方面に及ぶ取り組みの一つ一つが、良く考えられた素晴らしい事業でありました。

記念講演では放送作家の鈴木おさむ先生より、自身の生い立ちや放送作家として如何にヒット作を生み続けて来たかについてご講演いただきました。故郷の南房総市との関わり、地域貢献の活動や展望については、大いに参考になりました。また、最も心に残ったのは、どんな逆境も「おもしろい」と思うことで、様々な苦難もチャンスになりうるということです。どれほど難しい問題でも見方を変えることで解決しうることに、心の余裕を持つて取り組みむことで良いモノが生み出せると学びました。今後の活動でも一つの印象に捕らわれず、多角的な視点で活動を進めていく所存です。

その後の懇親会では、千葉県酒造組合のブースのほか、鈴木おさむ先生の幼馴染の方が手掛けるラム酒などが振舞われ、大変賑やかで有意義な時間を過ごすことが出来ました。

当会が本年九月に控える記念大会の開催を前に良い刺激となり、大変参考になりました。七十五周年に向け記念事業に会員一丸となって邁進して参ります。



## 三月

### 顧問会・慰労送別会

親睦部 副部長 梶合成美

令和七年三月七日、ホテルザノットヨコハマにて、顧問会並びに慰労送別

会を開催致しました。

顧問会では各部署長より事業報告を行い、当会における今後の課題や活動について顧問の皆様から貴重なご意見をいただきました。

その後、退会される先輩方の送別、令和六年度の青年会活動の労いを兼ねて慰労送別会を行いました。今年度をもって退会となる守屋隆広先輩、山本喜道先輩、宮崎淳先輩、立岩秀夫先輩、犬上互佑先輩、小澤佳次先輩、相原侑一郎先輩、山内稔之先輩、本道友里先輩、石腰浩之先輩、佐野水穂先輩を送り出しました。

ご臨席の叶わなかった先輩もおられました。ご出席いただいた先輩方の



青年会活動など貴重なお話しを聞くことができ、賑やかで楽しい時間となりました。結びに、今年度をもちまして退会される諸先輩方の今後益々のご活躍とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

【当日出席された退会会員より】



守屋隆広先輩「私  
が色々経験して伝え  
たいことは、もう皆  
さんに全て伝えて参  
りました。青年会に入  
って十八年、皆  
さんのお陰で楽しい  
時間を過ごさせて  
いただきました。本  
当にありがとうございます。」

山本喜道先輩「長い間、皆様お世話になりました。東日本大震災の復興支



援事業など色々取りまとめさせていただきました。青年会でしかできない経験を沢山させていただき感謝しかありません。皆さんも是非いろいろな事業に参加していただき良い経験をつくっていただければと思います。」



宮崎淳先輩「皆様、ありがとうございます。卒業となりました。卒業となりましたが、実際は思い残したことが沢山あります。皆さんは卒業するときに後悔しないように積極的に事業に参加して頑張ってください。」



立岩秀夫先輩「長い間、皆様お世話になりました。青年会では、北方領土返還事業に携わり、また、事業部長として沢山の経験をさせていただきました。様々な事業に参加し勉強になり、楽しむ事ができました。今日は本当にありがとうございました。」

## 外貨寄付事業

渉外部 部長 宮本公太郎

コロナ禍での様々な規制が緩和され、海外からの来日も多くみられるようになり、神社も元の在り方に戻りつつあります。多くの外国人観光客、ま

た海外から帰国してきた日本人が増えつつあり、お賽銭として外貨を納める方も多くみられます。大変ありがたい一方で、換金をする時間の確保が難しく、神社内に溜まっていつてしまう等の事情を鑑み、考案されたものが本事業でございます。

昨年と同様に当会会員が各神社様より回収させていただいた外貨は、品川のユニセフハウスに寄付致しました。集められた外貨は、種類ごとに仕分けされて各国のユニセフ本部に送られ、開発途上国の子ども支援のために使用されます。

外貨寄付事業は世のため人のために奉仕し、世界の共存共栄を祈る、神社界を象徴する事業であると感じており



ます。県内神社の皆様のご協力を賜り、無事遂行できたことを厚く御礼申し上げます。

【ご協力いただいた神社様】

計四十一社 総重量七十二kg

川崎支部

・稲毛神社

・日枝神社

・琴平神社

・横浜北支部

・一之宮社

・熊野神社

・八幡大神

・日吉神社

・横浜支部

・伊勢山皇大神宮

・横浜南支部

・金刀比羅神社

・日枝神社

・青木神社

・鎌倉横須賀三浦連合支部

・森戸大明神

・西叶神社

・海南神社

・相模原支部

・亀ヶ池八幡宮

・相模中連合支部

・六所神社

・前鳥神社

・伊勢原大神宮

・御嶽神社

・女衾大神

・八幡大神

・洲崎大神

・菊名神社

・杉山神社

・本牧神社

・諏訪神社

・東叶神社

・氷川神社

・平塚八幡宮

・三嶋神社

・比々多神社

・曾屋神社

・白笹稲荷神社  
足柄小田原支部

・報徳二宮神社

・箱根神社

・単立神社

・鶴岡八幡宮

・荏柄天神社

・松原神社

・五所神社

## 神道青年会全国協議会 神宮研修会

会員 田中義将

三月十八日から十九日にかけて、神道青年東海地区協議会の主管による神宮研修会が、神宮並びに神宮会館にて開催され、当会より志村会長を始め六名が参加致しました。

今回の研修は「受け継ぎ紡ぐ」変はりゆく世の中で守り繋ぐ神宮式年遷宮」という主題のもとで行われました。一日目は神宮権禰宜・総合企画室総合企画課長 大野由之先生より「神宮式年遷宮について」、神宮技師・神宮式年造営庁神宝装束部係長 宮本史典先生より「御装束神宝について」夫々貴重な講演をいただきました。大野先生からは遷宮を執り行う意義や、二十年毎に遷宮を行う理由、神宮の遷宮が重要視される根拠を、宮本先生からは、御装束と神宝夫々の内訳や種類、御装束神宝新調と遷宮の関係性と歴史、また次世代に技術を継承していく為の工夫等、式年遷宮を語る上で欠かせない



知識を学ぶ事ができました。  
二日目には第一、第三分科会に参加者が分かれ、それぞれ皇大神宮域内、豊受大神宮域内、神宮宮域林の参拝や、作業の見学、清掃奉仕を行いました。通常あまり入る機会の無い宮域林や忌火屋殿、山田工作場等の見学や正宮御垣内や新御敷地の清掃奉仕、常典御饌の奉拝等貴重な経験をさせて頂きました。  
懇親会に於いては、神道青年東海地区協議会の素晴らしいおもてなしの中、全国の同志達と美酒を酌み交わし、楽しく交流を深めることができました。

例年、神青協一都七県協議会の研修旅行会は神青協主催の中央研修会に合わせて開催しておりました。しかし、本年度は神宮研修会であった為、日程を合わせることはせずに、令和七年三月二十五日、浅草神社に於いて正式参

### 神青協一都七県協議会 研修旅行会

監事 小峰敏風



昨年天皇陛下より第六十三回式年遷宮の御聴許を賜り、令和十五年の秋に向けた式年遷宮の準備が本格的に進められている中で、国民総奉賛の実現に向けて各会員が決意を固める良い機会となりました。



拝、研修会、浅草散策、懇親会という半日の行程で開催され、当会より志村会長を始め五名が参加致しました。  
研修会では神青協一都七県協議会顧問でもある浅草神社宮司土師幸士先生により、地域の特色を生かした祭り文化の継承についてご講話頂きました。  
三社祭を例に挙げ、世代間の継承を縦軸、地域間の継承を横軸と捉え、信仰上の継承を目的として実践されていることを伺える有意義な研修会となりました。  
懇親会に於いては、屋形船に乗船し、墨田川の風情と食事を楽しみ、今期の諸活動を振り返りつつ、役員が改選される来期についての展望など語り会

い、交流を深めさせて頂きました。  
二年後は当会が主管県となります。  
一都七県協議会の中でも一置かれる立場の中、会員一丸となって小泉会長と共に邁進すべく、会員の皆様には積極的なご参加とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 四月

### 定例総会・懇親会

事務局 局長 坂路禎己

令和七年四月二十三日、定例総会が伊勢山皇大神宮にて開催されました。前年度の決算報告・活動報告と、本年度の予算・活動方針の審議が慎重に行



われ、全て承認されました。また総会終了後は恒例の懇親会を伊勢山ヒルズにて開催し、先輩方も多く駆けつけていただき懇親を深めることが出来ました。

本年度は役員改選期にあたり、小泉新会長の下で新体制での活動が始まります。早くから新たな活動が展開されており、新組織として「デジタル運営局」を新設し、また広報部では「イン스타그램」の運用もスタート致しました。

会員数減少という課題もあります。様々な事業を展開していく中で一人一人が与えられた任務を全うし、先

### 内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしております



一ご宿泊に関するお問い合わせ

〒516-0025 伊勢市宇治中ノ切町152  
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

Instagram好評配信中!



輩諸兄が築いてきたものを継承しつつ新事業にも挑戦し、青年神職らしく若々しく勢いのある活動に邁進して参ります。

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき  
有限会社 西紀

TEL: 072-810-8133

FAX: 0120-71-8135

FAX 24 時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7  
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

書置朱印

四季や干支が描かれた書置き御朱印です。ご社名、日付を記入してお使いください。

民俗工芸オリジナル

1種10枚1組  
縦14.5×横10cm

株式会社 民俗工芸

〒857-1162 長崎県佐世保市卸本町18-1  
TEL0956-34-5500 FAX0956-34-5511

### 営 業 品 目

縁起物入みくじ・金属製守・木札守・紙札守  
金欄錦守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おもりの奉製

株式会社 阿部

〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡5203-1

TEL (0282) 62-1010 (代表)

FAX (0282) 62-2061

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

京都・吉祥院  
東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七



電話代表 (075) 691-3000

FAX (075) 691-3300

E-mail info@towahosan.jp

# 令和6年度後期活動報告

## 10月

- 6 稲作体験事業「抜穂祭・稲刈り」(御神田)  
 8 葬儀マナー研修会(神奈川県神社庁)  
 9 北多摩神道青年会むらさき会「禊」教化用動画作成事業(森戸大明神)  
 13～14 創立75周年記念事業「硫黄島訪島」(硫黄島)  
 17 正副会長・局長会議(オンライン)  
 18 第6回拡大役員会(鹿島大神)  
 20 会報78号発行  
 21 全国戦没学徒追悼祭(淡路島・若人の広場公園)  
 22 一七協・事務局会議(オンライン)  
 26 第8回創立75周年記念事業実行委員会(オンライン)  
 28 東京都神道青年会創立75周年記念大会(東京ドームホテル)  
 30 神社庁協議会(神社庁)  
 30 一七協・第3回定例会議(神社本庁)

## 11月

- 6 一七協・懇親フットサル大会(代々木競技場フットサル競技場)  
 7 献米発送(駒形神社休憩所)  
 13 神青協・創立75周年記念事業「現役神職が語る『未来の神職へ神社の仕事とその魅力』」(國學院大学 渋谷キャンパス)  
 19 神青協・令和6年度臨時総会(神社本庁)  
 19 第7回拡大役員会(稲毛神社)  
 25～26 神青協・令和6年能登半島地震復興支援活動(石川県)  
 27 第30回神奈川県神社関係者大会助勢(横浜ロイヤルパークホテル)  
 29 有村治子参議院議員国政報告会(第2衆議院会館)

## 30

一七協・第1回記念誌編集委員会・事務局会(オンライン)

## 12月

- 4 かながわ元気フォーラム(ローズホテル横浜)  
 5 一七協・第4回定例会議・研修会・忘年会(明治神宮)  
 10 令和6年臨時総会(ロイヤルホール横浜)

## 1月

- 10 賛助会員交歓会・忘年会(ロイヤルホール横浜)  
 23 新年会(わん九州自慢)  
 29 一七協・第2回記念誌編集委員会(東京都・飛木稲荷神社)

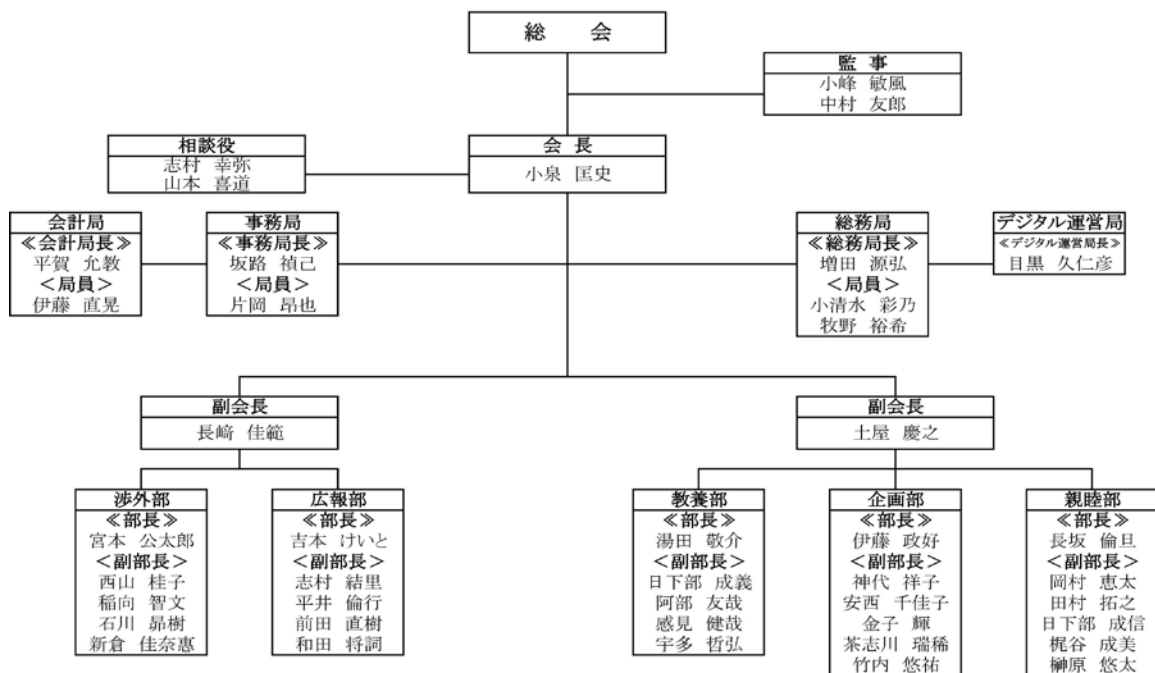
## 2月

- 5 一七協・第5回定例会議・顧問会・新年会(日本文化興隆財団・南国酒家)  
 7 令和7年北方領土返還要求全国大会(ニッショーホール)  
 17 第8回拡大役員会(伊勢山皇大神宮)  
 19 千葉県神道青年会創立75周年記念大会(京成ホテルミラマーレ)  
 25～27 神青協・伊勢の神宮写真展(神田明神)

## 3月

- 7 顧問会(ホテルザノットヨコハマ)  
 7 慰労送別会(ホテルザノットヨコハマ)  
 15 外貨寄付事業  
 18～19 神青協・神宮研修会(神宮・神宮会館)  
 20 慰霊碑忠魂碑調査完了  
 25 一七協・研修旅行会(浅草神社)  
 28 第9回創立75周年記念事業実行委員会(オンライン)  
 31 第9回拡大役員会(伊勢山皇大神宮)

## 令和7年度 神奈川県神道青年会 組織図



創立75周年記念事業実行委員長 小峰 敏風

神道青年全国協議会 代議員 小泉 匡史  
 神道青年全国協議会 代議員 坂路 慎己

神道青年全国協議会 地区理事 小泉 匡史  
 神青協一部七県協議会 副会長 小泉 匡史  
 神青協一部七県協議会 事務局員 坂路 慎己  
 神道青年全国協議会 時局対策委員 増田 源弘

## 慶弔報告

## ◇誕生

相原侑一郎

江島神社権宮司

令和六年十一月二十五日

第二子 長男 圭吾



伊藤政好

箱根神社権彌宜

令和七年二月二十日

第二子 長男 颯大



牧野裕希

白旗神社権彌宜

令和七年三月二十三日

第一子 長男 辰巳



## 入会・退会会員

## ◇入会

琴平神社

杉山神社

杉山社

叶神社

江島神社

江島神社

白旗神社

寒川神社

寒川神社

寒川神社

座間神社

川尻八幡宮

伊勢原大神宮

箱根神社

箱根神社

## ◇退会

本牧神社

杉山神社

江島神社

江島神社

鶴岡八幡宮

鶴岡八幡宮

神奈川県神社庁雇

権彌宜 高山 陸

権彌宜 伊藤名央貴

権彌宜 加藤 明子

権彌宜 感見 健哉

権彌宜 福田 稔

権彌宜 宇梶 晴紀

権彌宜 宇多 哲弘

権彌宜 網谷 徹

権彌宜 千蔵 富貴

権彌宜 岡 都雲

権彌宜 吉田 晶一

権彌宜 安西千佳子

権彌宜 竹内 悠祐

出 仕 山本 誠太

出 仕 浅原 幹

権彌宜 鈴木あすか

出 仕 吉田 彩乃

権彌宜 尾崎光太郎

権彌宜 永井 優臣

権彌宜 高橋 良知

権彌宜 大高 直樹

権彌宜 吉田 竜空

## 定年退会会員

## 編集後記

この度は会報七十九号の発刊にあたり、御多忙中にもかかわらず御寄稿頂きました皆様、御協賛各社の皆様に、厚く御礼申し上げます。

季節の移ろいを感じる今日この頃、服装選びに頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。先日、体温調節がしやすいよう薄手のカーディガンを用意したのですが、洗い方を間違えたのか残念な事に縮んでしまいました。肩を落とし、それを名残惜しく膝の上に置き、いつも以上に丁寧に畳みました。畳みながら、ふと、娘のカーディガンも小さくなっていた事を思い出しました。若しや、この大きさなら娘に合うのではないかと。試しに着せてみると、袖が少し余るものの、ゆつたりとしてかわいいと気に入った様子。こうして私のカーディガンは娘へ、娘の物は姪へお下がりとなりました。子供の成長とは、なんと早いことでしょう。追い越される日もそう遠くないかと、感慨深く思うのでした。

時節柄、皆様どうか御自愛專一に、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

広報部副部長 志村 結里

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ  
授與品の奉製

古都 奈良の

株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地

TEL 0742-62-3235(代)

FAX 0742-62-3228

E-mail: hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage: <http://www.yamato-hoshindo.net/>

|       |           |
|-------|-----------|
| 日枝神社  | 宮司 山本 喜道  |
| 溝口神社  | 権彌宜 山内 稔之 |
| 日枝神社  | 権彌宜 本道 友里 |
| 八幡神社  | 権彌宜 宮崎 淳  |
| 瀬戸神社  | 権彌宜 佐野 水穂 |
| 森戸大明神 | 権彌宜 守屋 隆広 |
| 江島神社  | 権宮司 相原侑一郎 |
| 寒川神社  | 権彌宜 立岩 秀夫 |
| 寒川神社  | 権彌宜 犬上 互佑 |
| 寒川神社  | 権彌宜 小澤 佳次 |
| 腰掛神社  | 宮司 石腰 浩之  |

## ゴルフ同好会



ゴルフ同好会では不定期ですがゴルフコンペを企画し、開催しております。今年は会としてまだ活動出来てはおりませんが、六月に開催予定の神青協一都七県協議会の芝球会など、他県との懇親を深めるべく積極的に参加して参ります。

ゴルフ同好会では、初心者の方にも楽しんでいただけるようゴルフ練習場での練習を企画し、会員同志の親睦を深める一助となるよう活動して参ります。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

〇四四―四二―一三三七―

## フットサル同好会



当同好会は月に一、二回横浜市近辺の体育館・フットサル場を中心に活動しております。小泉匡史選手兼監督による本格的な戦術練習から未経験者に合わせた基礎練習、運動不足の方に合わせたフィットネス感覚のボールを使わないトレーニングを始め、お子様方も一緒に楽しめるバラエティ豊かなトレーニングメニューをご用意しておりますので、是非ご家族でのご参加もお待ちしております。

又、当会は毎年秋に開催される「一都七県親睦フットサル大会」優勝を目標に掲げて活動しております。フットサルを通じて神奈川県内だけでなく、他県との交流も行っているため、運動を通して多くの仲間たちとの親睦を深める事が出来る環境となっております。お気軽にご参加ください。

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

〇四四―五一―一六〇一〇

## 野球同好会



我々野球同好会は毎月一、二回程度、夜七時～九時までの時間帯で、清水ヶ丘公園や潮田公園等横浜近辺の球場にて活動を行っています。

毎年秋に開催される一都七県神職野球大会を目標に練習に励んでおり、昨年は「神奈川らしく、元気に楽しい野球を。」のスローガンの下、全員野球で見事優勝という結果をつかむことができました。

会員は二十～六十代の男女が四十名

ご祈祷の予約・当日の受付から各種ご案内まで

神社の業務プロセスを  
徹底的に効率化



ご祈祷予約システム

月額利用料 19,800円(税込)



トライアル受付中

ミツイワ株式会社

TEL : 03-3407-2260

東京都品川区北品川5丁目1番18号  
住友不動産大崎ツインビル東館11階  
Mail : kagura@mitsuiwa.co.jp



公 式  
Instagram  
開 設  
しました！

ほどおり、運動不足や気分転換、親睦を深めるため和気藹々と楽しく野球に取り組んでおります。未経験の方も多く参加されています。どんなことでも構いませんのでお気軽にご連絡ください。皆様のご参加心よりお待ちしております。

【事務局】 神明社 石原誠人

(神道青年会顧問)

〇四五―三四―一六三六五